

高橋佳孝先生プロフィール

1954 年生まれ。

1978 年に岩手大学大学院（農学研究科）修士課程修了後、1979 年農林水産省入省、中国農業試験場畜産部に採用される。入省以来、一貫して「草地の永続的維持管理に関する研究」に従事し、1999 年に日本草地学会賞を受賞。

著書には、「中山間地と多面的機能」（共同執筆、農林統計協会）、「生態学からみた身近な植物群落の保護」（分担執筆、講談社サイエンティフィック）、「生態学からみた里山の自然と保護」（分担執筆、講談社サイエンティフィック）、「農山漁村と生物多様性」（分担執筆、家の光協会）、「里山を考える 101 のヒント」（分担執筆、日本林業技術協会）、「地域生物資源活用大辞典」（分担執筆、農山漁村文化協会）など多数。

長年、我が国の草原保全の問題を、草原生態系だけでなく農畜産業や文化景観の視点から研究調査し、全国草原サミットの開催にも尽力している。阿蘇の草原にも造詣が深く、調査研究のほか、財団法人阿蘇グリーンストック、阿蘇花野協会、NPO 法人九州バイオマスフォーラムの活動にも関わっている。「阿蘇ほど恵まれたところで草原が維持できないはずがない」というのが持論。

つづけて、平成 年 月（シンポ、牧野組合説明会、阿蘇草原サミット）など として参画 等関連したできごとを書いてもらえないでしょうか。

現在、独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 近畿中国四国農業研究センター畜産草地部主任研究官，宮崎大学農学部客員教授，NPO 法人緑と水の連絡会議顧問。